

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（総評）

【音楽（一般）】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備考
17 教育出版	(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、全学年に、領域・分野ごとに構成された「学びのユニット」が示され学習のねらいに到達する工夫が見られる。また、全ての教材に〔共通事項〕にある「音楽を形づくっている要素」を明記した学びのヒントや、学びを深めるための活動等が示されており、系統的で主体的な学びが展開できるような構成・配列の工夫が見られる。	全学年 P4、5
	(2) 主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、全学年に「まなびリンク」「比べてみよう」「深めてみよう」が掲載され、学習の進め方について分かりやすく示されている。また、キャラクターの吹き出しに具体的な学習の進め方を載せたり、学習内容の後半にワークシートを設けたりして、「知識・技能」の習得や「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫が見られる。	全学年 P6、7 2・3上 P9、P19 P43
	(3) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、全学年の目次の右下に、「まなびリンク」としてQRコードが掲載されており、範唱の音源や雅楽師などの範奏の視聴等ができるように工夫されている。	全学年 目次 2・3上P44
	(4) 曲想にふさわしい表現をするために、音楽全体の構成を理解して学習できるように「主要教材」から「比べてみよう」「深めてみよう」へと展開し、協働的に学ぶことができる工夫が見られる。鑑賞して知覚・感受したことを自分なりに表現するために、見方や考え方、感じ取った曲想等をまとめて交流する「話し合おう」を設定している。また、比較鑑賞する教材を示すことで、音楽の共通性や固有性を考えながら、実感を伴う理解をもとにした表現ができるような工夫が見られる。	1年 P6、10、56 2・3年上 P6、10、50 2・3年下 P6、10、46 1年 P38、39 2・3上P30 2・3下P26

27 教育芸術社	<p>(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、全ての学年に、学習内容や教材を示した「学びの地図」が示され、学習のねらいに到達する工夫が見られる。また、全ての教材に〔共通事項〕にある「音楽を形づくっている要素」と学習指導要領の資質・能力の三つの柱との関連性が示されており、系統的で、主体的な学びが展開できるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、全学年に「深めよう！音楽」「My Melody ♪」「Let's Create!」が掲載され、各コーナーとも学習の進め方が分かりやすく示されている。また、キャラクターの吹き出しに具体的な学習の進め方を載せたり、書き込むページを設けたりして、「知識・技能」の習得や「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、全学年の必要なページにQRコードが掲載されており、演奏の仕方に関する動画や学習に関連する内容のウェブサイトの紹介が参照できるように工夫されている。</p> <p>(4) 曲想にふさわしい表現をするために、学習目標の実現に適した教材と活動文が示されており、具体的な学びの支えとなっている。鑑賞して知覚・感受したことを自分なりに表現するために、「深めよう！音楽」で、ワークシートに書き込むなど手順に沿って学習を進めることで知覚と感受を整理し、言葉で表現するための工夫が見られる。また、「指揮をする」「リズムを打つ」「唱歌する」といった体験活動を取り入れることで、実感を伴う理解をもとにした表現ができるような工夫が見られる。</p>	<p>全学年 P8、9 2・3 上 P10 左 P36 左 P44 左</p> <p>全学年 目次 2・3 上 P22 P36～39</p> <p>1年P53 2・3 上 P21、P60 2・3 下P48</p> <p>1年2・3 上 P10 P30 1年P55 2・3 上 P50, 51 2・3 下 P38, 39 P50</p>
----------	---	---